

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年1月29日朝刊

伊豆市修善寺の紙谷和紙工房で厳寒期に紙をすく「寒すき」作業が最盛期を迎えている。28日も、山の冷たい湧き水を使って、地域に伝わる「修善寺紙」作りが行われた。

修善寺紙の継承を目指す地域おこし協力隊の舛田拓人さん(29)が作業に励んだ。ミツマタなどの材料を水に溶き、専用の木枠ですくって水平に振るった。工房では気温の下がる10月から3月ごろを中心に紙作りを行っている。冷たい水を使うと

伊豆・紙谷和紙工房

修善寺紙「寒すき」最盛期



冷たい湧き水を使って紙すきに励む舛田さん
 伊豆市修善寺の紙谷和紙工房

材料の液体に粘りが出やすく、良質な和紙ができるという。

舛田さんは「だんだん手の感覚がなくなるが、厚みにムラができないように集中して作業している」と話した。

修善寺紙の起源は定かではないが、平家物語に登場し、源頼朝の旗揚げ時に関東8州の武士に送った文書にも使われていたとされる。

- ①「修善寺紙」の材料は何ですか。()
- ②「寒すき」とは、どんなことですか。()
- ③「修善寺紙」の紙すきに山の冷たい湧き水を使うのはなぜですか。()
- ④「修善寺紙」に関係する歴史について、記事から分かることを書きましょう。()
- ⑤この「修善寺紙」の紙すきをしている人は、どんな思いを込めて紙をすいていると思いますか。あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年1月29日朝刊

伊豆市修善寺の紙谷和紙工房で厳寒期に紙をすく「寒すき」作業が最盛期を迎えている。28日も、山の冷たい湧き水を使って、地域に伝わる「修善寺紙」作りが行われた。

修善寺紙の継承を目指す地域おこし協力隊の舛田拓人さん(29)が作業に励んだ。ミツマタなどの材料を水に溶き、専用の木枠ですくって水平に振るった。工房では気温の下がる10月から3月ごろを中心に紙作りを行っている。冷たい水を使うと

伊豆・紙谷和紙工房

修善寺紙「寒すき」最盛期

冷たい湧き水を使って紙すきに励む舛田さん
 伊豆市修善寺の紙谷和紙工房

材料の液体に粘りが出やすく、良質な和紙ができるという。

舛田さんは「だんだん手の感覚がなくなるが、厚みにムラができないように集中して作業している」と話した。

修善寺紙の起源は定かではないが、平家物語に登場し、源頼朝の旗揚げ時に関東8州の武士に送った文書にも使われていたとされる。



①「修善寺紙」の材料は何ですか。(**ミツマタなど**)

②「寒すき」とは、どんなことですか。

(**(例) 厳寒期に紙をすく作業のこと。**)

③「修善寺紙」の紙すきに山の冷たい湧き水を使うのはなぜですか。

(**(例) (冷たい水を使うと、) 材料の液体に粘りが出やすく、良質な和紙ができるから。**)

④「修善寺紙」に関する歴史について、記事から分かることを書きましょう。

(**(例) 平家物語に登場し、源頼朝の旗揚げ時に関東8州の武士に送った文書にも使われていたとされる。**)

⑤この「修善寺紙」の紙すきをしている人は、どんな思いを込めて紙をすいていると思いますか。あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 厚みにムラができないように、集中して作業し、よい紙をすこう。(30字)
 歴史的にも貴重な紙をすくことができ、この作業を誇りに思う。(29字)
 手の感覚がなくなるほど冷たいが良質の紙をすくためがんばろう。(30字)
 など

年 組 名前